

3. 大腸がん

○

○: 専門とするがん △: グループ指定により対応しているがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙4に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり △: グループ指定により対応(地域がん診療病院のみ選択可) ×: なし ○

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数				治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績(あり/なし) ※平成25年1月1日~12月31日									各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ			
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術		内視鏡的治療		化学療法	放射線療法		光線力学療法	ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容					
			開腹手術	腹腔鏡下手術	EMR	ESD		体外照射	小線源治療			治療内容		治療実績	医師の専門分野		
1 消化器外科	11	4	状況	○	○	○	○	○	×	×	×	早期がん・進行がんに対して積極的に腹腔鏡手術を行っております。今ではほとんど全ての大腸がん手術が腹腔鏡手術となっています。最近では、臍部の約2.5cmの創からすべての手術を行う単孔式大腸切除術を積極的に採用しています。	ア	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター http://www.onh.go.jp/surgery/html/sikkan/kabu.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	あり	あり	あり	なし	なし	なし		イ	http://			
2 消化器内科	9	9	状況	×	×	○	○	○	×	×	×	近年、日本人における大腸癌患者数の増加は周知の通りです。いまや大腸ポリープ・早期大腸癌については、腫瘍の表面の模様(pit)を特殊な色素で染色し拡大内視鏡で観察することで、切除する前からある程度の悪性度(癌かそうでないか)、深達度(内視鏡で切除可能かどうか)判断できるようになってい	ア	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター http://www.onh.go.jp/ge/syokakan_sikkan.html	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	あり	あり	あり	なし	なし	なし		イ	http://			
3 放射線治療科	2	2	状況	×	×	×	×	×	○	○	×	放射線治療は、眼に見えない放射線という物質を巧みに操ることで腫瘍性疾患を消滅・縮小させるものです。うまく使えば手術や化学療法以上に素晴らしい力を発揮します。もちろん欠点もありますから、他の治療との連携が非常に重要です。そして、患者さんの意識がある状態で行うことが多いので、患者さ	ア	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター http://www.onh.go.jp/radiolog/	掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	なし	なし	なし	なし	なし	あり	あり	なし		イ	http://			
4			状況									ア	http://				
			実績									イ	http://				
5			状況									ア	http://				
			実績									イ	http://				

グループ指定を受ける施設との連携状況 ※グループ指定を受ける場合のみ記載すること	
--	--

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日~12月31日	例: 結腸がん、直腸がん、肛門管がん 結腸がん、直腸がん
------------------------------------	---------------------------------